

歴史が動いた、唯一無二の地！

天下人・豊臣秀吉が築いた「奇跡の城」と称される肥前名護屋城

安土桃山時代、豊臣秀吉の号令の下、160を超える大名・武将が集った名護屋。人口約20万人の実質的な首都機能を備える巨大都市となりました。当時の迫力のまま城の全体像を体感できることから、「奇跡の城」とも評されています。

さらに名護屋城は茶や能などの日本の伝統文化が花開いた「はじまりの地」。茶室の復元や、人気ゲームとコラボした看板の設置、陣跡の発掘調査など、歴史的・文化的価値を発信するさまざまな取り組みを進めています。



名護屋城博物館にある「黄金の茶室」

世界でここだけ！
「黄金の茶室」で
お茶を楽しむ、
特別な体験が
できます

県が行った最新の発掘調査で、前田利家の陣跡から巨大な堀の可能性のある遺構が発見！



前田利家陣 イメージ図(全体)

50年に一度の大発見

コスメ県、SAGA!

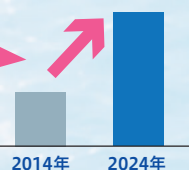
「コスメティック構想」

佐賀県の豊かな自然環境を強みに、2013年に産学官連携で始まった「コスメティック構想」。企業誘致が着実に進み、県内の化粧品生産額は倍増。コスメブランド「THREE」と連携して、コスメ原料となるハーブの栽培を開始。2025年には、呼子町にハーブの蒸留所がオープンしました。耕作放棄地だった土地が、佐賀発のコスメ産業の拠点へと生まれ変わっています。



THREE 呼子蒸留所

県内の
化粧品生産額は
10年で
2.2倍



イマ、呼子が面白い!

呼子が、再び盛り上がっています

江戸時代に「鯨の町」として栄えた呼子。時を超えて、有志による「呼子・鯨の町興しプロジェクト」が始動！途絶えていた「呼子くんち」を復活させ、サウナやクラフトビール醸造所、宿泊施設などが続々とオープンし、地元熱気が高まっています。



写真提供: (一社)唐津観光協会



波戸岬キャンプ場



© 佐賀県文化観光連盟

呼子港



名護屋城博物館



七ツ釜



204

ルート・グランブルー

目印の標識はココ

ルート・グランブルー
Route Grand Blue

人気ゲーム
「信長の野望」看板



© コーエーテクモゲームス
All rights reserved.

パラセーリングの
出発点!

ヨットハーバー

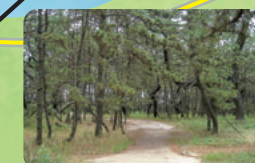
西の浜

唐津城



毎年恒例の
ビーチイベント
「Grand Blue」
開催地!

虹の松原



© 佐賀県文化観光連盟

ROUTE
GB

ルート・グランブルーを軸に広がる、「唐津プロジェクト」

マリナクティビティの聖地

「KMAP」プロジェクト

唐津・玄海エリアの自然を活用し、スポーツビジネスの好循環を生み出しながら、盛り上がりを創出する「KMAPプロジェクト」。唐津城を望む絶景のビーチ「西の浜」を中心に、多彩なマリナクティビティが楽しめます。4月からは北部九州初のパラセーリングも運航を開始!波が穏やかで、初心者でも楽しめると評判を呼んでいます。

「西の浜」では、唐津の夏の恒例イベントとなった「Grand Blue」も開催。今年は7月19日(日)に開催し、大いに盛り上がりました!



SUP



パラセーリング

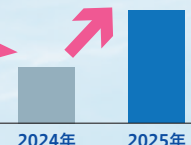


シーカヤック



Grand Blueイベント

マリナクティビティ
の体験者数
前年比
約**2倍**



ルート・グランブルー

2023年、国道204号線をジャック・マイヨールが愛した唐津の海にちなんで「ルート・グランブルー」と命名。唐房バイパスから波戸岬までの約20kmをつなぐ、絶景のドライブコースです。ルート上には、オリジナルサイン・路面標示も整備しました。



トピック

マイナビ ツール・ド・九州2026
佐賀県 初開催!

10/10[土]
10:00 スタート

マイナビ ツール・ド・九州2026は
10/9~10/12 に開催



ルート・グランブルーを舞台に県内で初開催する国際自転車ロードレース! PLA PLA前をスタートし、唐津城、虹の松原を通過、福岡市中心部・天神でフィニッシュします。ツール・ド・フランスに出場する海外のトップチームも参戦します。

マイナビ ツール・ド・九州2026コース